

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.831
2019.3.10

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

山崎 あきら	久保 みき
神田よしゆき	もりや千津子
戸島 よし子	松村 としお
とりうみ敏行	大木 学

予算委員会 (総合政策)

地下鉄7号線延伸は見通し持てず

2月20日、予算委員会で山崎あきら、とりうみ敏行の両市議が総合政策所管の質問をしました。

山崎市議は地下鉄7号線延伸事業について質問し、市が事業実現のために定住人口、交流人口の創出を図るためとして浦和美園・岩槻地域の成長・発展を推進するなどの関連事業をおこない、2012年～19年で総額約805億円以上をつぎ込んでいることが明らかになりました。

地下鉄7号線延伸は当初2017年度着工を予定していましたが、採算性の問題で延期せざるを得なくなりました。また、建設費は当初の700億円から800億円、900億円とも言われ、この先どれだけ膨れ上がるかわかりません。山崎市議は「人口減少が言われているなか、市の財政に深刻な影響を与えかねない」と強く批判しました。

とりうみ市議は中小企業資金融資事業に

ついて、「消費税率引き上げにともなう中小業者の資金需要が見込まれるとして前年比で総額66億円の増額としているが、市独自で金利や融資条件の緩和策などを考えているか」と質問しましたが、市はあくまで資金融資での中小企業支援をおこなうと答弁しました。

また、水害時に使用不能となる避難所が全体の258カ所中104カ所で40.3%に上ることが、市の答弁で明らかになりました。とりうみ市議は、「荒川の越水の可能性は極めて低いとはいえ、現に使用不能となる避難所が多数出ることが分かっているのだから、対策を急ぐべきだ」と求めました。



ビッグイベント見直して市民活動支援を

予算委員会 (文教)

2月21・22日の予算委員会で松村としお市議が文教委員会所管の質問をしました。

ビッグイベントは見直しを

2019年度はビッグイベントの国際自転車競技大会(クリテリウム)・国際女子マラソン・国際芸術祭に人件費とあわせ10億円が使われる見通しです。

松村 国際芸術祭は海外アーティストの予算が45%を占めている。使い方を改めて市民の文化芸術活動へ支援を強めるべき。

市 先進的なものを取り入れるのは必須。市民の活動支援に引き続きとりくむ。

松村 クリテリウムは市民の来場者が減っている。2.5億円も税金投入しているが、必要な事業だと市民に思われていない。

市 必要な事業だ。

松村 クリテリウムの民間移行も外郭団体に移すだけで、予算のつけかえにすぎない。もう手を引くべき。

過大規模校解消は新設校整備で

松村 新設大和田地区小学校(見沼区)の建設計画は6年。新設美園小中学校は4年で開校だ。早めることは可能ではないか。



市教委 今後できることは進めていく。

松村 1年でも2年でも早くやるべき。過大規模校解消は新設校整備でとりくむよう求める。

受験競争過熱させるな

松村 大宮国際中等教育学校が4月に開校する。校外活動などで保護者負担が多く、受験生の地域にも偏りがある。教育の機会均等上問題がある。

市教委 大宮国際の教育活動の成果を還元して教育向上に寄与したい。

松村 大宮国際で保護者も子どもも受験競争、競争教育にあおられている。

市教委 学校選択の幅、受験の機会が増えた。競争をあおったかは判断が難しい。

松村市議は「このまま進めていいのか」と市教委の姿勢を批判しました。松村市議は、他に学校の特別教室や体育館へのエアコン設置の促進や中学校での民間英語テスト、部活動のあり方について質問しました。

議案外質問 文教

教員の病急者が急増 施策の検証が必要



2月15日の文教委員会では松村としお市議は議案外質問をおこないました。昨年12月議会のもりや市議の議案外質問で明らかになった教員の病休者が急増した

ことについて質問しました。

松村 病休者の急増は深刻だ。原因をどう考えているのか。

市教委 重大だと受け止めている。原因は特

定の教育施策に求められるものではなく、保護者・地域から弁護士も関わるような働きかけがあり、学校だけの解決が困難な事案が増えていることに大きな原因がある。

松村 勤務時間の削減も病休者を減らすうえでカギではないか。

市教委 2018年度は超過勤務を月平均60時間を目標とした。国は月45時間・年間360時間のガイドラインを示したので見直しを図る。

松村 業務削減のため現場の意見を聞くことが必要と昨年指摘したが、その後どうか。

市教委 負担軽減についてアンケートを取った。現在集計中だが今後の参考にしたい。松村市議は「グローバルスタディなど教員に新たな負担が増えている。市教委の施策の検証も必要だ」と、市が独自でおこなっているものについて見直しを求めました。

議案外質問 市民生活

犯罪被害者 支援 経済的支援に 踏み出すべき

2月15日、市民生活委員会で神田よしゆき市議は犯罪被害者支援条例の制定と支援の具体化を急ぐよう求めました。犯罪被害者の支援については、市は昨年、要綱を作成してとりくんでいます。

神田 犯罪被害者支援要綱の支援内容を見ると、①保健医療あるいは福祉サービスの提供②居住の安定③経済的負担の軽減④一



時保護や施設入所⑤支援員等の人材育成がある。これらの施策の具体化は。

市 支援の具体的な内容として、大宮区役所において交通事故・犯罪被害者相談

員を設置、南区の埼玉犯罪被害者援助センターで弁護士による法律相談、臨床心理士のカウンセリングをおこなっている。

神田 犯罪被害者支援で重要な点は経済的支援。いろいろな議論はあるが、一定のところまで踏み出すべきと思うが見解を。

地方政治から国に声あげよ

請願採択を求めて討論



2月15日の総合政策委員会で、党市議団が紹介議員になった請願に対する討論と採決がおこなわれました。

とりうみ敏行市議は「消費税10%中止の意見書提出を求める請願」について、「年金だけが暮らしの糧となっている高齢者にとって消費税増税は暮らしを破壊するもの。各種の対策も10%への引き上げが前提であり、キャッシュレス決済はカード加入できない高齢者や年金者にとってはなんのメリットもない」として請願の採択を主張しました。

「沖縄県名護市辺野古埋め立ての土砂投入中止を求める意見書提出に関する請願」は、埋立地になっている大浦湾の貴重な自然を守るために、県知事選挙で示

された新基地建設反対の民意を尊重し、日本政府等に対して土砂投入の中止の意見書提出を求めるものです。とりうみ市議は「選挙で示された民意を最大限尊重することは民主主義の根幹。請願者は沖縄防衛局が行政不服審査請求を悪用し、国交省において埋め立て承認撤回の効力を停止させたことも厳しく告発している。国の方針に従わない自治体への無法な強行は看過できない」として請願の採択を求めました。

これらの請願の採択に賛成した会派は日本共産党だけで、委員会では反対多数で不採択となりました。

市 犯罪被害者を対象に、見舞金の支給や家賃補助、立てかえ支援金等を実施している

自治体は把握している。他市の実施状況を情報収集し、課題に努めていきたい。

あなたの身近な議員です



市議(中央区) 山崎あきら 市議(北区) 神田よしゆき 市議(見沼区) 戸島よし子 市議(浦和区) とりうみ敏行 市議(桜区) 久保みき 市議(南区) もりや千津子 市議(緑区) 松村としお 市議(岩槻区) 大木学